

研究主題

「未来へとたくましく生きる体づくりができる子どもの育成をめざして」
～友だちとのかかわり合いを生かした学習の流れの工夫を通して～

1 研究主題について

体育科においては、「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力」の育成を重視している。また、「健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる」と述べられている。心と体を一体としてとらえた指導が児童の心身ともに健全な成長を促すことにつながるといえる。さらに、運動の楽しさや喜びを味わえるよう基礎的な運動の技能や知識を確実に身に付けるとともに、それらを活用して、自らの運動の課題を解決するなどの学習をバランスよく行うことの重要性が指摘されている。

そこで、県の研究主題「勢いのある鳥取の体育～はずむ心、豊かな学び、確かな力～」を受け、西伯郡では、体育科において児童のかかわり合いを通してわかる・できることの喜びを感じ合い、主体的に考える学び方を身に付ける学習の流れを工夫することで、たくましく生きる体づくりができる力を育てられるのではないかと考え、上記の研究主題を設定した。

2 研究の実際

西伯郡では、上記研究主題のもと、子どもたちが授業を通して「できた」と感じ、体を動かすことが楽しい、運動が好きだと思える子どもを育てることをねらいとし、「子どもの興味を引き出す用具の工夫」、「友だちとのかかわり方」、「自分の姿を見つめ直す場面」の3つの視点を具体的にどのように学習過程に仕組んでいくのかを重点に各学校で授業実践を行い、研究を深めてきた。

さらに、来年度の中四国小学校体育研究大会（鳥取大会）での分科会発表に向けて、5月には授業研究会を実施したり、8月には発表内容について検討をしたりと郡全体として取り組むことで研究を深め、各校の体育学習の充実へとつなげることができた。

3 具体的な取り組み

5月22日	授業研究会 会見小学校 第2学年 「器械・器具を使つての運動遊び」 授業者 安達 嘉也教諭
8月 1日	研修会 中四国小学校体育研究大会（鳥取大会）分科会内容の検討
8月8日、9日	夏季一泊研修会参加
10月10日	中・四国小学校体育研究大会（鳥取大会）プレ発表大会参加
10月25日	中・四国小学校体育研究大会参加（山口大会）
12月26日	スキー指導者講習会
2月28日	事業反省会 本年度の反省と26年度の研究の方向性について

4 来年度に向けて

平成26年度に中・四国小学校体育研究大会（鳥取大会）が米子市で行われる。来年度は、分科会発表内容や郡としての協力体制をさらに充実させ、大会成功へ向けて取り組んでいきたい。